



【地域版】(年2回発行)

発行 2026年6月

大戸小学校校長 田波 巨士

OTSリーダー 森田 敬子

編集 大戸小学校OTS (おおとスマイル)



地域の皆さまには、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。子どもたちが安心して学び、成長できるのは、地域の皆さまの見守りと支えがあってこそです。今後とも、学校・家庭・地域が力を合わせ、よりよい環境づくりに取り組んでまいります。

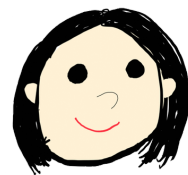
みなさんの元気になる場所はどこですか？

「OTSを、子どもも大人も笑顔で活動できる場所にしよう」そんな思いを込めてスタートしたOTS (おおとスマイル) も、今年で2年目となります。地域の皆さんとお会いする機会を多くいただく中で、「大戸の子」は温かい環境の中、たくさんの方々に見守られながら安心して育っていることを、日々実感しています。

みなさんの“元気になる場所”はありますか？私が元気になる場所は、子どもたちが毎日歩く通学路です。この場所で、毎朝たくさんの元気をもらっています。子どもたちの元気なあいさつの声。地域の方と子どもたちとのやり取り。見守ってくださる方々の「行ってらっしゃい」という温かな声かけ。子どもたちが歩きやすいよう気遣いながら通り過ぎる自転車の方々。子ども達を見守る優しい眼差しに、心が温かくなります。

地域の方から「大戸小の子どもたちは、しっかりあいさつができますね」と声をかけていただくことがあります。私自身も本当にそう感じています。皆さまもぜひ、登校時間に通学路で子どもたちと「おはよう」を交わしてみませんか？元気をあげたり、元気をもらいながら1日をスタートする。おすすめの“元気になる場所”です。

昨年に引き続き、今年度もOTSリーダーを務めさせていただくことになりました。皆さまにお力添えをいただく場面も多いかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



OTSリーダー 森田敬子

【個別登校2年目を迎えて】 ～校外対策チームより～

日頃より、交通指導員の皆様、にこにこパトロール隊の皆様、地域の皆様には、子どもたちの見守り活動にご協力いただき、ありがとうございます。個別登校が始まって2年目を迎えました。子どもたちが自分で安全を考えて行動できる場面も少しずつ増えてきています。一方で、交通量の多い場所や見通しの悪い交差点では、判断に迷う様子も見られます。また、横に広がって歩いたり、住宅の敷地内に入ってしまうなど、通学路での歩き方やマナーについては、引き続き大人の見守りや声かけの大切さを感じています。

今年度は、新たな試みとして「自由立哨期間」を設けました。立哨ポイントごとの担当を設けず、ご自宅付近や通学路で、それぞれのご都合に合わせて見守りにご協力いただく取り組みです。期間中は、付き添い登校などの形でご協力くださる保護者の姿も見られました。共働き世帯の増加など、保護者を取り巻く生活スタイルも変化している中で、どのような見守りの形が無理なく続けやすいのか、引き続き模索していきたいと考えています。校外対策チームでは、今後も通学路の安全確認や改善に継続して取り組んでまいります。

今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

